



11月のおすすめ マガン

11月のマガンは、早朝に水鳥公園を飛び立って安来で朝食を済ませた後、10時半前後にお昼寝のために水鳥公園に帰って来ます。そして、16時頃に再び飛び立ち、安来で夕食を済ませてから17時半前後に帰ってきます。つまり、ねぐら立ちとねぐら入りを観るチャンスが一日に2度もあるのです。12日(土)には、自然観察会「落雁を観よう!」を開催します。是非ご参加ください。

2016年9月12日~10月10日に見られた鳥

キジ、マガン、(コブハクチョウ)、オシドリ、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、シマアジ、トモエガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、カイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、アマサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、クイナ、バン、オオバン、セイタカシギ、タシギ、アオアシシギ、クサシギ、タカフシギ、ソリハシシギ、イソシギ、ハマシギ、セグロカモメ、クロハラアジサシ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、オオタカ、ハヤブサ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、マキ/センニュウ、シマセンニュウ、オオヨシキリ、コヨシキリ、セッカ、ムクドリ、シロハラ、ビタキ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ

合計:66種類

※下線太字は注目の鳥、()は外来種。



6年ぶり2度目のマキ/センニュウ(2016/9/25)

今月のNEWS

なぜ?シマセンニュウが大量飛来!

この秋、水鳥公園に大量のシマセンニュウが渡ってきていることが鳥類標識調査で分かりました。開園以来、毎年8月下旬から11月末にかけて調査を行うのですが、一日当たりの調査で捕獲できる数は、多くても60羽くらいでした。ところが、今年は最多で124羽捕獲されていて、その前後の調査でも50羽以上捕獲された日が相次ぎました。これは、過去20年間のうち、少なめの年の総捕獲数以上が一日で捕獲されている状態です。なぜ今年はこんなにシマセンニュウが多いのか、原因は不明ですが、他の鳥の動向も何か変化がないか、注意してみようと思います。



この秋大量に飛来しているシマセンニュウ(2016/8/26)

11月のイベント

水鳥公園のイベントの参加には入館料が必要です。表示があるものを除き、会場・集合場所は水鳥公園ネイチャーセンターです。

11月6日(日)まで バードカービング展「水鳥公園で生まれた木鳥たち」

11月27日(日)まで フェザーカービング展「美しき野鳥の羽」

内 容：普段から水鳥公園で作品作りに取り組んでいるバードカービング米子の皆さんの自信作を一堂に展示します。フェザーカービングは木彫りの羽毛、バードカービングは木彫りの鳥です。

出 展：バードカービング米子



11月12日(土)16:30~17:30

自然観察会「落雁を観よう！」

内 容：マガンの大群が編隊を組んで中海の対岸から飛来し、水鳥公園に舞い降りる光景を観察します。

対 象：小学生以上がおすすめ・当日受付



11月20日(日)9:30~14:00

手作り自然教室「鳥の羽のフローチを作ろう！」

内 容：木材を削って色を塗り、本物そっくりな鳥の羽のフローチを仕上げます。

対 象：小学生以上先着 15 名。要予約

参加費：500 円（入館料を含む：大人・子ども一律）



11月27日(日)14:00~17:00

第9回子ども自由研究発表会

内 容：小学生が今年の夏に取り組んだ、自然科学に関する自由研究の成果を発表します。

対 象：小学生以上がおすすめ。

主 催：NPO 法人日本野鳥の会鳥取県支部、米子水鳥公園友の会、国際ソロプチミスト・スワン米子、公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団



お申し込み・お問い合わせ

米子水鳥公園ネイチャーセンター

〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田665

TEL：0859-24-6139 FAX：0859-24-6140

ホームページ <http://www.yonago-mizutori.com>

●開園時間

4月~10月 9：00~17：30

11月~3月 8：30~17：30

（土・日・祝日は、7：00から開園）

●入館料

高校生以上 70 歳未満：310 円

（年間パスポート 1540 円）

中学生以下および 70 歳以上：無料

●休園日

毎週火曜日（祝日を除く）

および祝日の翌日（土曜、日曜を除く）